

## [042]言語文化論究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/2229999>

---

出版情報：言語文化論究. 42, 2019-03-12. 九州大学大学院言語文化研究院  
バージョン：  
権利関係：

## 個人研究業績一覧

(2017年11月～2018年10月)

言語環境学部門

言語教育学講座

アレレス、ジョナサン **Jonathan ALELES**

【その他 Others/Miscellaneous】

- Aleles, J. (2018). “English Education in Japan”, Tottori Board of Education, Yonago, Tottori, July 30, 2018. (oral presentation)

井上 奈良彦

【その他】

- 「Why is Q-LEAP doomed to be short-lived?」第183回東アジア英語教育研究会，西南学院大学，2018年2月17日。（口頭発表）（単独）
- 「議論教育のための対話型教材開発における現状の課題と展望」第4回ディベート教育国際研究会大会，九州大学，2018年3月17日。（口頭発表）（共同）
- 「議論の構造的な可視化機能を備えた多人数参加型議論支援システムの設計と実装」第4回ディベート教育国際研究会大会，九州大学，2018年3月17日。（口頭発表）（共同）
- 「クリティカルシンキング教育に有効なアクティブラーニング型教材アプリ構想」第4回ディベート教育国際研究会大会，九州大学，2018年3月17日。（口頭発表）（共同）
- 「ディベート後の「Oral Critique（口頭批評）」についての一考察」第4回ディベート教育国際研究会大会，九州大学，2018年3月18日。（口頭発表）（共同）

カスヤン、アンドレアス **Andreas KASJAN**

【その他】

- Teaching German as a Second Foreign Language in Japan. 2017 International Conference on Applied Linguistics, National Taipei University of Technology, Taipei, Taiwan, November 17, 2017. (oral presentation)
- 『ドイツ・インターンシップ研修』の準備段階における語学教育1年間でゼロからCEFRのA2水準へ」九州大学大学院言語文化研究院言語研究会，九州大学，2018年7月5日。（口頭発表）
- Organisation, rechtlicher Rahmen und Durchführung von Studienreisen. DAAD Lektorenfachseminar 2018, Ryūkyū University, Nishihara, July 22, 2018. (oral presentation)

## 高橋 勤

## 【論文】

— 「異種混交の寓話 — ゲイリー・スナイダーにおける野生の詩学」『英語英文学論叢』（九州大学言語文化研究院）第68集，pp. 1-13，2018年3月。

## 【その他】

— 「山本晶『エマソンの「文明」論 その新出邦訳「開化」に関する考察』『ヘンリー・ソロー研究論集』第44号，pp. 105-107，2018年10月。（書評）

## 辻野 裕紀

## 【論文】

— 「〈読むこと〉をめぐる — 内向き志向の言語教育へ向けて —」，『言語科学』53，九州大学大学院言語文化研究院言語研究会，pp.39-46，2018年3月。

## 【その他】

— 「中央アジア高麗語の話しことばと書きことば」（権在一著），『韓国語教育論講座 第3巻』，くろしお出版，pp.287-318，2018年1月。（翻訳）

— 「現代韓国語と言語の化石」（宋喆儀著），『韓国語教育論講座 第3巻』，くろしお出版，pp.429-443，2018年1月。（翻訳）

— 「キリスト教と韓国語」（徐正敏著），『韓国語教育論講座 第3巻』，くろしお出版，pp.575-592，2018年1月。（翻訳）

— 「辻野裕紀准教授」，『韓国研究センター年報』18，九州大学韓国研究センター，pp.11-15，2018年3月。（インタビュー）

— 「韓国語の堂奥に迫る」，『嚶鳴：九州大学基幹教育広報誌』11，九州大学基幹教育院，2018年4月。（エッセイ）

— 「『本の未来を探る旅 ソウル』」，『韓国朝鮮の文化と社会』17，韓国・朝鮮文化研究会，風響社，pp.132-134，2018年10月。（本の紹介）

## 松村 瑞子

## 【著書】

— 『日本語のポライトネス — 異文化理解教育の方法開発に向けて —』九州大学大学院言語文化研究院，言語文化叢書 XII，全230頁，2018年2月。（単著）

## 【論文】

— 「日本語のジェンダーと（イン）ポライトネス — ステレオタイプの見方を再生産していないか —」『言語科学』（九州大学大学院言語文化研究院言語研究会）第53号，pp. 55-64，2018年3月。

## 【その他】

— 「発話行為におけるアサーティブネス — 女性は自己主張に欠けるか？ —」2018年度日本語ジェンダー学会，第19回年次大会，長崎ウエスレヤン大学，2018年6月23日。（口頭発表）

— 「日本人の言語行動におけるポライトネス（基礎編）（応用編）」大連外国語大学学術講座，大連外国語大学：中華人民共和国，2018年9月18日・19日。（招待講演）

- 「伝達動詞の歴史的現在 —— 日英語の対照研究 —— 」日本英文学会九州支部第71回大会, 九州女子大学, 2018年10月21日. (口頭発表)
- 『平成29年度日本語資料集』九州大学大学院地球社会統合科学府, 松村瑞子・単アイテイ (編), 2018年3月. (資料集)

## 言語環境学部門

### 言語情報学部講座

#### 内田 諭

##### 【論文】

- Uchida, S. K. Shimojo, T. Watanabe, S. Saito, and S. Taniguchi, Vocabulary comparison in works of American prose: An interdisciplinary analysis using Word2Vec 『英語英文学論叢』68, pp. 71-84, 2018年2月.
- 内田諭 「word2vec による類義語抽出と FrameNet の比較: 言語研究のための質的検証」『言語統計を用いた認知言語学研究へのアプローチ』 pp. 41-51, 2018年3月.
- 芦原和樹・高田祥平・荒瀬由紀・内田諭 「英語教育支援のための複単語表現平易化手法の検討」『言語処理学会第24回年次大会発表論文集』 pp. 472-475, 2018年3月.
- 畔元里沙子・内田諭 「高校英語教科書の CEFR レベル: CEFR-J Wordlist に基づいた語彙の数量的分析」『言語処理学会第24回年次大会発表論文集』 pp. 468-471, 2018年3月.
- Uchida, S., S. Takada, and Y. Arase, CEFR-based Lexical Simplification Dataset. *Proceedings of the Eleventh International Conference on Language Resources and Evaluation (LREC 2018)*, pp. 3254-3258, May, 2018.
- 芦原和樹・梶原智之・荒瀬由紀・内田諭 「依存構造に基づく単語から語義の分散表現への細分化」『研究報告自然言語処理 (NL)』2018-NL-237 (3), pp. 1-7, 2018年9月.
- Uchida, S. and M. Negishi, Assigning CEFR-J levels to English texts based on textual features. In Y. Tono and H. Isahara (eds.) *Proceedings of the 4th Asia Pacific Corpus Linguistics Conference (APCLC 2018)*, pp. 463-467, September, 2018.
- Morita, M., S. Uchida and Y. Takahashi, Prefixes and suffixes in Japanese junior high school English textbooks. In Y. Tono and H. Isahara (eds.) *Proceedings of the 4th Asia Pacific Corpus Linguistics Conference (APCLC 2018)*, pp. 335-339, September, 2018.

#### 江口 巧

##### 【論文】

- 「修辭的效果をもつ結果構文」『英語英文学論叢』(九州大学大学院言語文化研究院英語科) 第68集, pp. 49-70, 2018年3月.

#### 大津 隆広

##### 【著書】

- “Multiple Occurrences of Discourse Markers and Fillers: A Relevance-theoretic View,” 『ことばのパーспекティブ』, 開拓社, pp. 393-404. 2018年3月.

## 【論文】

- “Context Selection and Relevance,” 『言語科学』 第53号, pp. 19-28, 2018年 3月.
- “*In Other Words and I Mean/ You Mean: Reformulation and Metarepresentation*” 『英語英文学論叢』 第68集, pp. 15-33, 2018年 3月.
- “Multiplicity of *After All: A Unitary Account*,” *Journal of Pragmatics*, 134, pp. 102-122, 2018年 9月. <https://doi.org/10.1016/j.pragma.2018.04.007>.

## 【その他】

- 「関連性理論における談話標識：一義的説明と意味の区別」九州大学言語文化研究院言語研究会, 2018年10月11日. (口頭発表)
- 「In Other Words と I Mean — 関連性理論の立場から」日本英文学会第64回九州支部大会シンポジウム『談話標識研究へのアプローチ』, 九州女子大学, 2018年10月20日. (企画・司会・口頭発表)

## 鈴木 右文

## 【その他】

- 「学生派遣の事例 ケンブリッジ大学英語・学術研修プログラム」九州大学FD・SDオープンセミナー, 魅力ある短期留学プログラムを作る, 九州大学, 2017年12月7日. (講演)
- “Developing a Short-Term Program at the University of Cambridge: Arranging International Collaborations for Education,” *International Collaborations - Opportunities & Challenges -*, Faculty Development in English, 九州大学伊都ゲストハウス. (講演)
- 「学術英語カリキュラムの追求 — 2018年度九州大学英語新カリキュラム — 」『英語英文学論叢』(九州大学英語英文学研究会) 第68集, pp. 36-47, 2018年 3月. (報告)
- 「英語科目の学習管理システムのためのサーバ構築の体験 — 非専門家の英語教員による対応記録 — 」『言語科学』(九州大学大学院言語文化研究院言語研究会) 第53号, pp. 29-38, 2018年 3月. (報告)
- 「九州大学の新しい英語カリキュラムについて」第67回九州地区大学教育研究協議会, 長崎国際大学, 2018年 9月15日. (口頭発表)
- 「合理化と充実の解としての九州大学英語カリキュラム改訂」大学英語教育学会九州・沖縄支部, 特別研究大会, 九州産業大学, 2018年10月13日. (口頭発表)
- 「19世紀：(南) アフリカ」「19世紀：クリミア戦争」「19世紀：アヘン戦争」「第1次世界大戦」「20世紀前半の社会」「戦後の体制」「英語表現：出勤の途中と業務」「英語表現：商談と「する」動詞」「英語表現：仕事の開始とやりとり」「英語表現：提案への判断」「英語表現：コピーとファイル」「食べ物：スコーンとクロテッドクリーム」「食べ物：サバの燻製」「食べ物：アフタヌーンティ」「食べ物：紅茶」FM福岡『QTPro モーニングビジネススクール』, 2017年12月～2018年 8月. (ラジオ)
- 「この空の花 長岡花火物語」「ブリッジ・オブ・スパイ」「トランボ ハリウッドに最も嫌われた男」「スノーデン」「花筐 HANAGATAMI」「明日へ 戦争は罪悪である」「米軍が最も恐れた男」「こんばんは」「私は、ダニエル・ブレイク」「サウルの息子」「スポットライト 世紀のスcoop」「ペンタゴン・ペーパーズ」「反戦情報」398-409号, 2017年11月～2018年10月. (コラム)

## 田中 俊也

## 【論文】

- 「ゲルマン語強変化動詞および過去現在動詞 IV, V 類に見られる形態的差異について — Schumacher (2005) 論考の批判的考察と形態的混交説からの提案 —」『言語研究』（日本言語学会）第152号, pp. 89-116, 2017年9月.

## 山村 ひろみ

## 【論文】

- “Un estudio contrastivo-descriptivo de la perífrasis española “estar+gerundio”, la perífrasis italiana “stare+gerundio” y la perífrasis francesa “être en train de+infinitif””, 『言語文化論究』（九州大学大学院言語文化研究院）No. 40, pp. 85-101, 2018年3月. (単著)
- “Un estudio contrastivo-descriptivo de la perífrasis española “estar+gerundio”, la perífrasis portuguesa europea “estar a+infinitivo” y la perífrasis portuguesa brasileña “estar+gerundio””, 『言語科学』, 第53号, pp. 65-87, 2018年3月. (単著)
- 「スペイン語の丁寧表現 — 「丁寧の線過去」と「丁寧の過去未来」をめぐって —」, 『言語文化論究』（九州大学大学院言語文化研究院）No. 41, pp. 1-16, 2018年10月. (単著)

## 【その他】

- 科研費（基盤研究（C）課題番号15K02482）「現代ロマンス諸語におけるテンス・アスペクト体系の対照研究」の研究成果報告 CD, 2018年3月. (編集)
- 「スペイン語の「大過去」」, 科研費（基盤研究（C）課題番号15K02482）「現代ロマンス諸語におけるテンス・アスペクト体系の対照研究」の研究成果報告 CD, 2018年3月. (報告)
- 「日本語母語話者にとっての「過去の出来事」「過去の状況」と点過去と線過去の使い分け」日本スペイン語学セミナー（SELE2018）, 東海大学山中湖セミナーハウス, 2018年9月. (口頭発表)

## 横森 大輔

## 【著書】

- 鈴木亮子・秦かおり・横森大輔（編）『話しことばへのアプローチ：創発的・学際的談話研究への新たな挑戦』ひつじ書房, 全268頁, 2017年12月. (共編著)
- 平本毅・横森大輔・増田将伸・戸江哲理・城綾実（編）『会話分析の広がり』ひつじ書房, 全300頁, 2018年9月. (共編著)

## 【論文】

- 「認識的スタンスの表示と相互行為プラクティス：「やっぱり」が付与された極性質問発話を中心に」, 鈴木亮子・秦かおり・横森大輔（編）『話しことばへのアプローチ：創発的・学際的談話研究への新たな挑戦』, ひつじ書房, pp. 113-143, 2017年12月.
- Yokomori, Daisuke, Eiko Yasyui, and Are Hajikano. “Registering the receipt of information with a modulated stance: A study of \*ne\*-marked other-repetitions in Japanese talk-in-interaction.” \*Journal of Pragmatics\* 123, pp. 167-191. 2018年1月.
- Nishida, Hiroko, and Daisuke Yokomori, “Stopping/Restarting Play during String Quartet Rehearsals: Ethnographic Approach to Performance Analysis,” 『言語文化論究』 40, pp. 69-84.

2018年2月.

- 「会話分析から言語研究への広がり：相互行為言語学の展開」, 平本毅・横森大輔・増田将伸・戸江哲理・城綾実 (編), 『会話分析の広がり』, 東京：ひつじ書房, pp. 63-96. 2018年9月.
- Endo, Tomoko, Anna Vatanen, and Daisuke Yokomori. “Agreeing in overlap: A comparison of response practices and resources for projection in Finnish, Japanese and Mandarin talk-in-interaction,” 『社会言語科学』 21 (1), pp. 160-174. 2018年9月.

【その他】

- Mak, Suyin, Hiroko Nishida and Daisuke Yokomori. Metaphorical usage in the rehearsal communication of two professional string quartets. \*Together in Music Conference\*, National Centre for Early Music, York, Apr. 12-14, 2018. (口頭発表)
- Endo, Tomoko, Anna Vatanen, and Daisuke Yokomori. Cross-linguistic investigation of projection .in overlapping agreements to assertions, \*5th International Conference on Conversation Analysis\*, Loughborough University, UK, July 11-15, 2018. (口頭発表)
- Chen, Li, & Daisuke Yokomori. Display of understanding by understanding check: A study of Japanese utterance-final use of the quotative particle TO, \*5th International Conference on Conversation Analysis\*, Loughborough University, UK, July 11-15, 2018. (口頭発表)
- Yokomori, Daisuke. Problem statements with KEDO in Japanese talk-in-interaction, \*5th International Conference on Conversation Analysis\*, Loughborough University, UK, July 11-15, 2018. (口頭発表)
- Mak, Suyin, Hiroko Nishida and Daisuke Yokomori. Metaphorical cognition in the discourse of professional string quartet rehearsal, \*15th International Conference on Music Perception and Cognition and 10th triennial conference of the European Society for the Cognitive Sciences of Music (ICMPC15/ESCOM10)\*, Graz, 23-28 July 2018. (口頭発表)
- Endo, Tomoko, Anna Vatanen, and Daisuke Yokomori. Two levels of projection: cross-linguistic investigation of agreeing overlapping response, \*3rd International Conference on Interactional Linguistics and Chinese Language Studies\*, Beijing, 23-24 Aug. 2018. (口頭発表)
- 「談話標識への会話分析的アプローチ：情報を受けとめる really を中心に」, 日本英文学会九州支部第71回大会, シンポジウム第3部門 (英語学) 『談話標識研究へのアプローチ』, 2018年10月21日. (口頭発表)

**レイカー、スティーブン Stephen LAKER**

【論文 Articles】

- Celtic influence on Old English vowels: A review of the phonological and phonetic evidence. *English Language and Linguistics* (first view), 1-30, January 2018.

【その他 Others/Miscellaneous】

- Early English phonology as revealed through place-names. ICEHL20, 27-31 Aug. 2018, John McIntyre Conference Centre, Edinburgh University, Scotland, 28 August 2018. (oral presentation)
- British place-names and Early English phonology. Invited presentation: An International

- Symposium on the Early History of the North-Sea Germanic Languages: Dutch, English, Frisian and Low German. University of Southern Denmark, Odense, 13 March 2018. (oral presentation)
- Allgemeine Prinzipien des Lautwandels und die Präferenzgesetze. Invited presentation: Current Aspects of Preference Theory, a Symposium on the Occasion of Theo Vennemann's 80th Birthday, University of Munich (LMU), Germany, 9 December 2017 (with Robert Mailhammer). (oral presentation)
  - Managing editor of the peer-reviewed journal North-Western European Language Evolution (NOWELE), issues 71.1 and 71.2, John Benjamins Publishing Company, Amsterdam/Philadelphia.
  - Editor of the supplement series of North-Western European Language Evolution (NOWELE), John Benjamins Publishing Company, Amsterdam/Philadelphia. Three substantial volumes were edited and published during 2017-2018.
  - External reader of MA thesis, Graduate School, Faculty of Humanities, German and Scandinavian Languages & Cultures, University of Amsterdam, The Netherlands, August 2018.

## 国際文化共生学部門

### 国際文化学講座

秋吉 收

#### 【論文】

- 「魯迅与夏目漱石 —— 從社会批評与文明批評的視角看 ——」（羅執廷氏との共著）『言語文化論究』（九州大学言語文化研究院）第40号, pp. 27-40, 2018年3月.
- 「Secondary Translation as a Media in Shaping Modern Chinese Literature: On Anthology of Modern Japanese Novels and LU Xun's Wild Grass (YeCao)」=「中国近代文学創出と第二の「翻訳」——魯迅・周作人編訳『現代日本小説集』, 散文詩集『野草』を端緒として」『言語科学』（九州大学言語文化研究院）第53号, pp. 1-18, 2018年3月.
- 『当代文芸評論視域中的魯迅伝統』（ISBN:978-7-02-013899-9）曹衛東編 [孫郁ほか26名執筆], 人民文学出版社（北京）, 分担執筆「“敵人”对魯迅《野草》的影響」, pp. 114-127, 2018年4月.
- 「『野草』与日本 —— 關於兩個詩人 ——」『學術月刊』（上海市社会科学界聯合会）2018年第3期 [第50卷, 総第586期], pp15-22, 2018年3月.
- 「台湾文学とは何か —— 言語そして日本 ——」『北九州国文』（福岡県高等学校国語部会）第45号, pp. 7-24, 2018年5月.
- 「成仿吾与魯迅《野草》」『済南大学学报（社会科学版）』第28卷第3期, pp. 119-126, 2018年5月.（転載：『中国現代、当代文学研究』（中国人民大学書報資料中心）, 2018年第8期）
- 「一台湾作家の訳した魯迅 —— 楊逵編「中日文対照」中国文芸叢書『阿Q正伝』をめぐって」（張明敏氏との共著）『野草』（中国文芸研究会）第101号, pp25-49, 2018年10月.

#### 【その他】

- 「『野草』与日本 —— 關於兩個詩人 ——」『紀念《野草》出版90周年国際學術研討会（復旦中文百年慶典學術活動）, 復旦大学中文系, 2017年11月20日.（口頭発表）
- 「中国の詩：王家新、扶桑」季刊詩誌『舟』（レアリティの会）170号, pp. 4-7, 2018年2月.



(翻訳)

- 『中国における日本近代文学受容の研究——魯迅・周作人編『現代日本小説集』を端緒として』「平成26年度～平成29年度科学研究費補助金 基盤研究 (C) (課題番号26370411) 研究成果報告書, 2018年3月.
- 「現代中国文学和日本文学的交流——近代文学における日本と中国」, 講座「アジア共同体への展望—文学・文化の伝統と共有—」, 山東大学, 2018年6月22日. (講演)
- 「錯綜的周作人和魯迅——從『新青年』上的「随感録」談起」『首届周作人国際学術研討会基礎資料的鈎沈與整理』, 早稲田大学, 2018年7月6日. (口頭発表)
- 「深読み! 教科書の文学②「故郷」から読み解く近代中国」(監修)「魯迅「故郷」をめぐる“虚”と“実”」(解説)『図書館教育ニュース』(東京:少年写真新聞社) No.1476, 2018年9月18日号.
- 「周氏兄弟与『新青年』——以『随感録』为中心」北京大学中国語言文系, 中国現代文学研究会主催『周氏兄弟與文学革命学術研討会』, 北京大学, 2018年9月22日. (口頭発表)

## 倉方 健作

### 【著書】

- ピエール・ブルデュー著『知の総合をめざして 歴史学者シャルチエとの対話』, 藤原書店, 全258頁, 2018年2月. (加藤晴久と共編訳)
- 『2018年度版 仏検公式ガイドブック 3級』, 公益財団法人フランス語振興協会 (APEF), 全224頁, 2018年4月. (執筆分担. 第2部「2017年度秋季 問題と解説・解答」執筆)

### 【論文】

- 「詩人とガラス瓶 ヴェルレーヌの「兄」「姉」をめぐる」『STELLA』(九州大学フランス語フランス文学研究会) 第36号, pp. 77-84, 2017年12月.

### 【その他】

- 「エピグラフの<sup>モデルニテ</sup>近代性 ヴェルレーヌによる実践を例に」, 第64回九州フランス文学会, 西南学院大学, 2017年12月3日. (口頭発表)
- 「劇作家の新生: エドゥアール・カドル (1831-98) とノアン滞在」, 2018年度春季日本ジョルジュ・サンド研究会, 獨協大学, 2018年6月2日. (口頭発表)
- 「足立和彦著『モーパッサンの修業時代 作家が誕生するとき』」『図書新聞』, 2018年2月17日号. (書評)
- 「クロード・パストゥール著, 伊東冬美訳『悲運のアンギャン公爵 フランス大革命、そしてナポレオン独裁のもとで』」『ふらんす』(白水社), 2018年3月号, p. 68. (書評)
- 「木水千里著『マン・レイ 軽さの方程式』」『ふらんす』(白水社), 2018年9月号, p. 69. (書評)
- 「Radio France ラジオ・フランス (特集: フランス語、どこで学びますか?)」, 『ふらんす』(白水社), 2018年4月号, p. 26. (コラム)
- 「Sport スポーツ (特集: フランス語、どこで学びますか?)」, 『ふらんす』(白水社), 2018年4月号, p. 27. (コラム)
- 「ぐるりマレショール物語」(1)～(7), 『ふらんす』(白水社), 2018年4月号-10月号. (連載コラム)

## 佐藤 正則

## 【その他】

- 「アレクセイ・ユルチャク『最後のソ連世代 ブレジネフからペレストロイカまで』『ロシア語ロシア文学研究』（日本ロシア文学会）第50号，pp. 222-228頁，2018年10月。（書評）
- 「ロシア革命とポスト・ヒューマンの思想」第11回文芸共和国の会シンポジウム「人間と技術の協働：ユートピアでもディストピアでもない、生成するこの世界が、」西南学院大学，2018年9月15日。（口頭発表）
- 「ポスト・ヒューマン思想の起点としてのロシア革命：ボグダーノフのテクトロギヤ」日本ロシア文学会2018年度西日本支部総会，九州大学，2018年6月16日。（口頭発表）
- 「ボグダーノフと20世紀ロシア思想」シンポジウム「ロシア文化・思想史研究の現在」，東京大学，2018年3月28日。（口頭発表）

## 中里見 敬

## 【論文】

- 「『春水』手稿後話及周作人、錢玄同、兪平伯詩作信札」『中国現代文学研究叢刊』2018年第4期（総第225期），pp. 126-133，2018年4月。（共著）
- 「濱文庫新収資料「錢玄同致周作人書簡」について：錢玄同，周作人，中村不折の書をめぐる日中文化交流」『九州大学附属図書館研究開発室年報』2017/2018，pp. 8-17，2018年7月。（単著）

## 【その他】

- 「『春水』手稿と日中の文学交流——周作人、冰心、濱一衛」国際シンポジウム論文集』全3冊（第1冊 日本語論文編，第2冊 中国語論文編，第3冊 資料編）（九州大学 QR プログラム・特定領域強化プロジェクト「人社系アジア研究活性化重点支援」第1回「東アジアの交流と文学」国際シンポジウム）1：240pp.，2：251pp.，3：63pp. 2018年2月。（共編）
- 周吉宜著，中里見敬訳「周作人と冰心：早期冰心女士と我が祖父の往来」同上書1：3-22所収，2018年2月。（翻訳）
- 「『春水』手稿：畢生の贈り物」同上書1：172-175，2：177-179所収，2018年2月。（単著）
- 董上徳著，中里見敬訳「濱一衛先生との架空の対話」同上書1：212-216所収，2018年2月。（翻訳）
- 「濱一衛先生の思い出：御息女へのインタビュー 附：周作人より濱一衛に贈られた書4点」同上書1：217-240所収，2018年2月。（インタビュー，共著）
- 「濱文庫所蔵戯単紹介」同上書3：24-51所収，2018年2月。（共著）
- 「周作人錢玄同兪平伯詩作書札：兼及錢玄同書札所見中日書法文化交流」首届周作人国際学術研討会：基礎資料的鈎沈与整理，早稲田大学，2018年7月8日。（共同，口頭発表，予稿集）
- 「初期日本人京劇通による俳優評：辻聴花、波多野乾一、濱一衛を中心に」ジャーナリスト・京劇研究者辻聴花（1868-1931）生誕150年記念シンポジウム，熊本大学，2018年9月2日。（口頭発表）
- 「留学史研究の現状について」交換留学事業開始30周年シンポジウム「日本と中国の語学教育の現状と研究」，霞山会館，2018年10月3日。（共同，口頭発表）
- 周吉宜著，中里見敬訳「周作人と冰心：早期冰心女士と我が祖父の往来」『言語文化論究』

第41号, pp. 79-95. 2018年10月. (翻訳)

### 浜本 裕美

#### 【論文】

- 「Ganymede, Danae, and Io: Artistic Creativity in *Aurora Leigh*」『英語英文学論叢』(九州大学英語英文学研究会) 第68号, pp. 85-105, 2018年3月.
- 「『イーリアス』における嘆願と名誉」『フィロロギカ——古典文献学のために』(古典文献学研究会) 第13号, pp. 1-13, 2018年6月.

#### 【その他】

- 「詩と韻文と散文 poetry, verse and prose」英詩の会, 研究集会, 福岡大学, 2017年12月2日. (口頭発表)
- 「エウリーピデース作品における『オデュッセイア』:『ヘレネー』と『ヘーラクレス』を中心に」国際基督教大学西洋古典学研究集会, 穂高町学者村, 2018年8月1日. (口頭発表)
- 「告発する dramatic monologue——バレット・ブラウニングと子供を葬る逃亡奴隷(シンポジウム「詩と革新」)」日本英文学会九州支部, 第71回支部大会, 九州女子大学, 2018年10月20日. (口頭発表)

### 劉 轟

#### 【論文】

- 「中国語の機能語の習得に関する実証的研究——動詞接辞の“了1”と文末助詞の“了2”を例に」, 『言語科学』(九州大学大学院言語文化研究院言語学研究会), 第53号, pp. 89-98, 2018年3月.
- 許挺傑, 鈴木祐一, 劉 轟「文法指導の順序に関する実証的研究——中国語の動詞接辞“了1”と文末助詞“了2”に焦点を当てて——」, *Studies in Language Sciences: Journal of the Japanese Society for Language Sciences* (言語科学会), 第16&17号, pp. 117-140, 2018年8月.

#### 【その他】

- 「中国語の対称詞の談話モデル理論による分析」, 『第66回九州中国学会』, 2018年5月13日. (口頭発表)
- 「关于虚词“着”、“过”、“就”、“才”的习得研究」, *The 10th Annual Conference of the International Association of Chinese - Japanese Contrastive Linguistics*, 2018年8月19日. (口頭発表)

### 国際文化共生学部門

#### 国際共生学講座

### 阿部 吉雄

#### 【その他】

- 「資料調査：ユダヤ人難民の船舶による上海渡航」, 『言語科学』(九州大学大学院言語文化研究院) 第53号, pp. 99-113, 2018年2月.

**岡本 太助****【著書】**

- 貴志雅之編『アメリカ文学における幸福の追求とその行方』, 金星堂, 2018年2月, 全387頁. (共著)
- 早瀬博範編『21世紀から見るアメリカ文学史— アメリカニズムの変容—』, 英宝社, 2018年3月, 全235頁. (分担執筆)

**【論文】**

- 「シェパード劇におけるパフォーマンスと表出的アイデンティティ」『アメリカ演劇』第28・29号 (日本アメリカ演劇学会), pp. 35-57, 2018年3月.

**【その他】**

- 「A Haunted House Named Theater — あいまいなものとしての境界」九州アメリカ文学会, 第64回大会シンポジウム, 北九州市立大学北方キャンパス, 2018年5月13日. (口頭発表)
- 「Edward Albee の家族ゲーム — 演劇的イリュージョンとしてのホーム」日本アメリカ演劇学会, 第8回大会シンポジウム, HOTEL ルブラ王山, 2018年8月26日. (口頭発表)

**下條 恵子****【著書】**

- 『21世紀から見るアメリカ文学史— アメリカニズムの変容—』英宝社, 全235頁, 2018年3月. (早瀬博範 編, 執筆分担. 第VI章「アメリカニズムの揺らぎ (1990-現代) 時代思潮・小説」 (分担執筆))

**【論文】**

- Uchida, S. K. Shimojo, T. Watanabe, S. Saito, and S. Taniguchi, Vocabulary comparison in works of American prose: An interdisciplinary analysis using Word 2 Vec 『英語英文学論叢』68, pp. 71-84, 2018年2月.

**【その他】**

- 下條恵子, 斎藤新悟「言及性に着目した戦争小説における数理的研究」アメリカ文学会東京支部例会, 慶應義塾大学, 2018年3月24日. (口頭発表)
- Manuscripts from the Other Side of the World: Poe, Yumeno, and Message-in-a-bottle Narratives. International Poe & Hawthorne Conference, 22-24 June 2018, Kyoto Garden Palace Hotel, Japan, 24 June 2018. (oral presentation).
- Revisioning America, Revisioning Self: Paul Auster's Autobiographical Works. The 53rd ASAK International Conference, 14-15 Aug. 2018, Korea University, Korea, 14 August 2018. (oral presentation).

**谷口 秀子****【その他】**

- 「フェミニズム童話と「アリス」」, 日本ルイス・キャロル協会, 三月例会, 東京都・タワーホール船堀, 2018年3月31日. (口頭発表)
- 「ディズニー作品に見るヒロインの変遷 ～シンデレラからモアナまで～」, 糸島市男女共同参画センター, 「子育てが変わる! 人生が変わる! “らしさ” の魔法を解く講座」, 糸島

市男女共同参画センターラポール, 2018年2月22日。(講演)

## 蔦原 亮

### 【論文】

- Enseñanza de la colocación basada en la analogía del inglés. *Revista Foro de profesores de E/LE*, 13, pp. 291-300, Noviembre 2017.
- Las colocaciones “verbos de apoyo + nombres deverbales/eventivos” en español -Estudio prospectivo para su enseñanza en ELE-. *Hispanica*, 61, pp. 23-50, Marzo 2018.

### 【その他】

- Una clase sobre los usos de los verbos habituales basada en un índice marcador de la dificultad de aprendizaje. XIII Foro de profesores de E/LE, Universidad de Valencia, Valencia, España, Marzo 9-10, 2017. (Presentación oral)
- 難しい動詞・簡単な動詞 スペイン語他動詞の解釈難易度測定の試み 日本イスパニヤ学会第64回大会 南山大学 2018年10月13-14日。(口頭発表)
- 鳥越慎太郎, 蔦原亮 ポルトガル語の -dor, -ente 形容詞の关系的用法 —— スペイン語との対照 —— 日本ロマンス語学会第56回大会 京都大学 2018年5月12-13日。(口頭発表)

## ハズウェル、クリストファー ガレス Christopher G. Haswell

### 【著書】(Books)

- Accepting neighboring Englishes: Investigating the attitudes and preconceptions of English medium instruction students at an international university in Japan in English-medium instruction in Japanese higher education: Policy, challenges and outcomes (Eds. A. Bradford & H. Brown), p. 149-160, *Multilingual Matters*. November, 2017.

### 【論文】(Articles)

- Personal and professional benefits of teaching assistants, *Asia Pacific Language Journal*, pp. 25-30, December, 2017.
- Connecting the Global Model to effective intercultural communication in English, *九州大学言文論究* No. 40, pp. 57-68, March, 2018. (with A. Hahn)
- An accurate representation of a globally-modelled English language, *KOTESOL Conference Proceedings*, pp. 68-79, October, 2018. (with A. Hahn)

### 【その他】(Others)

- Implementing an effective teaching assistant program using international students, 1st Applied Linguistic and Language Teaching Conference, Dubai, March 9th, 2018. (口頭発表)
- Maximizing teacher assistant program benefits, JALT PanSIG, Tokyo, May 19th, 2018. (口頭発表)
- Teaching assistant programs using international students, Convention on Global Higher Education, Lakeland International College 新宿, June 9th, 2018. (口頭発表)
- Utilizing a smartphone app to improve student engagement with microlearning, KOTESOL International Conference, Sookmyung Women’s University, October 13th, 2018. (with M. Praver) (口頭発表)

## 福元 圭太

## 【論文】

- 「フェヒナーからフロイトへ (3) — グスタフ・テオドール・フェヒナーの系譜 (8) —」『かいろす』(かいろすの会) 第56号, pp. 18-30, 2018年11月. (単著)
- 「ライプチヒのフェヒネル — グスタフ・テオドール・フェヒナーの系譜 (9) —」『かいろす』(かいろすの会) 第56号, pp. 31-51, 2018年11月. (単著)

## 【その他】

- 『『ブッククラブと民族主義』(竹岡健一著、九州大学出版会、2017年)』『かいろす』(かいろすの会) 第56号, pp. 95-103, 2018年11月. (書評)

## 国際教育

パーウェルス、ルーベン **G.A. Ruben G.A. PAUWELS**

## 【論文 Articles】

- “Waves of Contact between Tungusic and Japanese: Possible Evidence in the Reflexes of Tungusic Medial Voiced Consonants and Medial Consonant Clusters in Old Japanese (Part 1)”. *Korean and Japanese: Studies on Language and Culture* / 한일언어문화연구 / 『日韓比較言語文化研究』(Journal of the International Society for the Comparative Study of Korean and Japanese), No. 5, pp. 31-68, October 2018.

## 【その他 Others/Miscellaneous】

- “East Asian Loanword Triplets and Quadruplets Containing Old Japanese, Tungusic, and Koguryō Etyma”. International Society for the Comparative Study of Korean and Japanese (国際日韓比較言語学会 / 국제한일비교언어학회), 12<sup>th</sup> International Academic Conference, Seinan Gakuin University, Fukuoka, Japan, October 20, 2018. (口頭発表)
- “East Asian Loanword Triplets and Quadruplets Containing Japanese and Tungusic Etyma”. *Korean and Japanese: Studies on Language and Culture* / 한일언어문화연구 / 『日韓比較言語文化研究』(Journal of the International Society for the Comparative Study of Korean and Japanese), No. 5, pp. 141-142, October 2018. (プロシーディングズ)